

自主防災会で守る地域の安全



■ 災害など有事の時に、どうして「自主防災」が大切なのか



被災地への視察
R6.10 東日本大震災被災地へ
照間・江洲・栄野比・川田の自主防災会の皆さん

津波の恐ろしさを肌で実感しました。
石巻市立大川小学校では、大津波警報が発表され、高台避難を呼びかける無線や広報車があったにもかかわらず、校庭で待機し、津波到達の1分前になって、裏山ではなく橋のたもとへ向ったことが大切な命を失うこととなったそうです。備えや避難の判断によって、こんなにも悲しい被害になってしまうという現実には言葉が見つかりませんでした。
私たちの住んでいる地域が、どのような危険性を秘めているのか、それに対してどのような対策をとるのか、各地区の自主防災会で考えていかなければならないと痛感しました。



いのちをつなぐ未来館にて



大川小学校の現在。津波に巻き込まれた児童と教職員併せて84人が死亡。

■ みんなが主体的に取り組む訓練って、きっと身になるよね



恐竜の格好をして競争したり、子どもから大人まで防災運動会を楽しんだよ。

天願小学校区合同防災運動会



子どもから大人まで防災ゲームを真剣に取り組む、楽しみながら訓練ができた。

栄野比自主防災会運動会



水消火器やバケツ消火などみんなで楽しく防災運動会をしながら防災について学ぶことができた。

川田防災運動会



大きなお鍋で豚汁の炊き出しをして、実際の災害時の避難者受け入れ時の体制を再確認できたよ。

炊き出し訓練（江洲自主防災会）



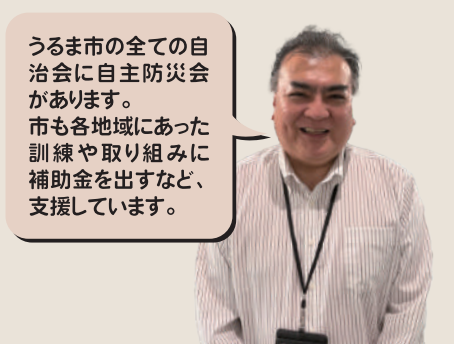
普段住んでいる地域のみんなと「顔の見える関係」を訓練とおして確認したよ。

照間自主防災訓練



本番さながらの訓練で、高台までの避難ルートを地域のみんなと避難したことで、避難経路の状況が確認できた。

みどり町5・6丁目防災避難訓練



うるま市の全ての自治会に自主防災会があります。市も各地域にあった訓練や取り組みに補助金を出すなど、支援しています。

うるま市役所 危機管理課長